

2022 年度第 12 回理事会 議事録 2023.4.20

日時：2023 年 4 月 20 日（木）19：01～21：35

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、木村修介、戸塚香代子、澤口勇、西川航平、大郷和成(17 名)

欠席理事：金山桂(副会長)(1 名)

出席監事：錠内広之、野々垣睦美(2 名)

その他出席：池田公平(選挙管理委員会 委員長)、藤本一博(第 19 回神奈川県作業療法学会 学会長)

I. 会長より挨拶

今期最後の理事会となります。本日も円滑な議事に協力いただき来期に向けての準備を行っていきましょう。本日は藤本学会長にもお越しいただいております。宜しくお願い致します。

II. トピックス

1. 第 19 回神奈川県作業療法学会について(藤本学会実行委員長)

学会の運営、企画、内容の詳細について報告。ハイブリッド開催、一般演題の 3 段階募集、徹底的な広報戦略、多くの講師陣によるオンデマンド講演、ウェブシステムの構築のほか、会場参加に関しては全て無料とし、オンライン参加に関しては県士会会員特別枠を設けて無料で参加できるようにしたい。

県士会としては収入に関する不安材料があるが、今回の学会の試みについては今後検証を行うことを念頭に承認。学会における会員増活動や財務管理については理事会で検討し明確化することとする。

2. 役員選挙報告と今後の運営(選挙管理委員会 池田委員長)

立候補、推薦を含めて理事 18 名、監事 2 名の候補を確認。社員総会議案として提出済。社員総会後の臨時理事会での三役互選に関して取りまとめを行う予定。

III. 審議事項について

1. 神奈川県保険医協会市民公開講座 後援申請・PR 協力について →承認
2. 第 31 回在宅医療・介護セミナー 後援申請・PR 協力について →承認
3. 第 6 回神奈川県臨床作業療法大会 大会長について → 鶴巻温泉病院 木村達氏 承認
4. 選挙管理委員会について →承認

IV. 報告事項について(各部署・理事)

【各部署】

1. 事務局

(1) 2022 年度 神奈川県障害者スポーツ協会委員より報告

古賀誠実行委員より 2022 年度活動報告あり共有。

(2) 事務局について

事務局員の退職の時期に関して変更あり。そのため採用活動に関しては一旦白紙として、改めて来年度初めに事業計画変更を提案し審議する予定。事務局員の増員、専門家導入など多角的に検討し提案する。

(3) 第 10 回社員総会について

総会までスケジュール、総会当日のスケジュールについて確認。

2. 財務部 監事

(1)2022 年度期末監査報告について

概ね健全に事業が遂行されているが、会計監査マニュアルに基づいた財務手続きを確実に行うよう担当理事は引き続き管理監督に努めてほしい。

3. 福利部

(1)神奈川県作業療法士会 功労表彰に関して

2名候補者より辞退の連絡をいただいた。今年度の功労表彰はなし。

4. 規約委員会

(1)代議員の任期中の辞任について

1名の代議員＝正会員が3月に退会され辞任となった。規程上運営に支障が無ければ問題はないことを確認。

5. 学会評議委員会

(1)第19回神奈川県作業療法学会について

シンポジウム企画等の実施中の空き会議室の有効活用について募集。県士会として有効に活用できないか各部署でもぜひ検討してほしい。

6. 公益法人化対策委員会

理事役員向けの研修会を実施。任期末の開催にも関わらず多数の役員に参加をいただいたことに感謝する。

今後も引き続き研修会に関しては継続して実施する予定。いただいた質問や意見を含めて今後共有予定。

7. エリア化推進委員会

(1)代議員ミーティング実施報告

3月27日に実施。13名の代議員の参加があった。顔合わせと意見交換を実施。県士会でも課題として議論されている「会員数の減少、組織率の低下」について話題にあがった。各代議員も敏感に感じ取っており、今後の動向に関して危惧している。この課題について共有しながら県士会の活動に沿って協力をしていきたいとの意見をいただいた。

【理事】

1. 田中副会長

(1)謝金規程に関して

日本作業療法士協会より改定された謝金規程の公表があった。当会としても来年度に謝金規程に関して検討を行っていくこと念頭においてほしい。

2. 神保会長

(1)3士会長会議に関して

3月29日オンライン開催。作業療法士、理学療法士、言語聴覚士各会より、会長を中心に主に執行役員が出席。顔合わせ、これまでの本会の目的と経緯の共有、リハビリ手帳に関する相談、災害対策、神奈川県地域リハビリテーション3団体協議会についてなどを相談検討。その他言語聴覚士会より法人化に向けた相談等があった。

(2)研修会の開催方法の方針に関して

来年度は予算計画を超えないことを前提に、オンライン、対面形式等を検討し実施することとする。

(3)組織改編に関して

各カテゴリでの話し合い結果を基に再提案。組織図案の見直しを図った。今後は本提案を基に検討し決定していくこととする。

(4) 今期の振り返り総括について

この2年間の活動を振り返り改めてみなさんに感謝をいたします。会長として組織と向き合うことを念頭に活動を行ってきました。各部署ヒアリングを複数回行い、月1回理事会を開催するなど、お互いの理解を深めることを念頭に進めてきました。十分に理解を深めることまで至らなかったかもしれませんが、日々の理事会活動だけでなく共に40周年を迎え様々な企画を行い祝福できたことを大変嬉しく思っています。

2年前の会長選に関して質問や助言をいただきました。不十分な理解により発言したことで不快な印象を与えたことに関してはお詫びを申し上げます。今後も引き続き内省しながら当会ならびに会員と向きあっていきたいと考えています。不十分な会長であったと思いますが、これからも当会の発展に向けて、みなさんと手を繋いで取り組んでいきたいと思っております。今後継続される理事役員のみなさん、今期で辞する理事役員のみなさんに改めて感謝するとともに、来年度新規に理事役員候補のみなさんにこれからも当会に協力いただけることをお願いしたいと思っております。またいつも当会の活動を支えて下さっている事務局員のみなさんにも深く感謝をいたします。最後に当会は会員と向き合う組織として引き続き盛り上げていけるよう協力をお願いします。ありがとうございました。

V. その他 連絡事項等

1. 議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、野々垣監事、玖島理事、佐藤隼理事。

2. 監事より

(1) 野々垣監事

学会の運営に関して様々な意見がありました。この内容について掘り下げて検討していきましょう。今期は対面での理事会は開催できませんでしたが、来期は対面形式だけでなくオンラインの利点も上手に活用しながら運用していきましょう。お疲れさまでした。

(2) 錠内監事

お疲れさまでした。理事役員を継続される方、今回退任される方を含めて、今後も県士会の活動を引き続き応援してください。2年間お疲れさまでした。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	玖島 弘規	印
	理事：	佐藤 隼	印
	監事：	野々垣 睦美	印